

2025年4月発行 桂ぶどうの木こども園

新入園・進級おめでとうございます。ひとつ大きくなった!という喜びと期待いっぱいの笑顔に出会うことができ、とても嬉しく思います。今年度も、保健に関する情報を「ほけんだより」を通してお知らせしていきます。暖かい日が増えて過ごしやすくなりますが、新しい環境は子どもたちには意外と緊張で疲れやすくなっているものです。園で元気にのびのびと遊んだあとは、ご家庭でゆっくり休養できるよう、ご配慮をお願いいたします。

## 園で預かることができる薬について

園では原則として与薬は行わないことになっています。しかし、子どもが健康的な日常生活を過ごせない場合に限り、主治医が日中必要と指示があった薬(熱性けいれん・てんかんなどのけいれん予防、心臓病などの慢性疾患など)はお預かりしています。ただし与薬が必要なときは、主治医意見書や与薬依頼書などが事前に必要になりますので園までご相談ください。受診の際には、保育園に通っていることを伝え、1日2回処方などなるべく家庭で与薬ができるように主治医にご相談ください。

塗り薬に関しては、アトピー性皮膚炎や湿疹・オムツかぶれなど皮膚の弱いお子さんで塗り薬が必要な場合は、与薬依頼書及び処方箋を持参してください。

また園での与薬はしていないが、体調不良で医療機関を受診したり、服薬中(薬剤名)や ホクナリンテープを貼付している時などは、保育中への影響もありますので、必ず園の方ま でお伝えいただきますようお願いいたします。

## 🍲 年間健康診断予定 🏩

★桂ぶどうの木こども園★ 内科 6月4日(水)・II月5日(水) 歯科 6月26日(木)・II月20日(木) 検尿5月27日(火)28日(水)

3~5歳児クラスはこの他に『はみがき教室』があります。



お世話になる嘱託医の先生

【小児科】

青木小児科医院

青木修一郎先生·福原正太先生 〒615-8082 京都府京都市西京区桂上豆田町32

【歯科】

新谷歯科桂診療所

新谷聡先生

〒615-8074 京都府京都市西京区桂南巽町55-3



お子さまの健康が気になるときだからこそ、 予防接種と乳幼児健診は、 遅らせずに、予定どおり受けましょう。

予防接種や乳幼児健診は、お子さまの健やかな成長のために 一番必要な時期に受けていただくよう、 市区町村からお知らせしています。 特に赤ちゃんの予防接種を遅らせると、免疫がつくのが遅れ、 重い感染症になるリスクが高まります。

厚生労働省

(厚生労働省 HPより抜粋)

予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められています。特に、生後2か月から予防接種を受け始めることは、お母さんからもらった免疫が減っていくときに、赤ちゃんがかかりやすい感染症から赤ちゃんを守るために、とても大切です。受けそびれてしまった場合は、できるだけ早く受けましょう。新型コロナウイルス感染症の流行後に、外出自粛要請などの影響で、規定の期間内に予防接種を受けられなかった方でも、公費接種を受けられる場合があります。まずはお住まいの市区町村にお問い合わせください。

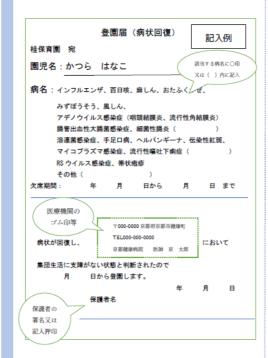
乳幼児健診は、子どもの健康状態を定期的に確認し、相談する大切な機会です。適切な時期にきちんと乳幼児健診を受け、育児で分からないことがあれば、遠慮せずに医師、保健師、助産師などに相談しましょう。

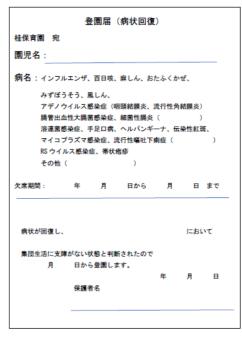
予防接種後は、副反応による発熱などに備えて、保護者の方の見守りが必要です。休日や降園後に受けていただくようお願いいたします。

## 感染症が治って登園する際には「登園届」が必要です!!

保育園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが快適に生活できることが大切です。下記の感染症については、登園のめやすをかかりつけ医の意見に従って「登園届」に記入し、登園する日にご提出していただくようお願いします。なお、保育園での集団生活に適応できるまで回復してから登園するよう、ご配慮ください。

「登園届」は園にありますので、職員までお声をかけて下さい。また、各園のホームページにも載せていますので ダウンロード印刷してご使用ください。





インフルエンザ 百日咳 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 水痘(みずぼうそう) 風疹 咽頭結膜熱 (プール熱) 流行性角結膜炎(はやり目) 急性出血性結膜炎 腸管出血性大腸炎 溶連菌感染症 手足口病 ヘルパンギーナ 伝染性紅斑(りんご病) マイコプラズマ肺炎 感染性胃腸炎 (流行性嘔吐下痢症) 細菌性腸炎 侵襲性髄膜炎菌感染症 突発性発疹 RS ウイルス感染症 その他医師が意見する感染症